

重点課題	7つのアクション	これまでの主な成果	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 森林情報の一層の共有・活用の推進	①森林情報の共有・活用	・共通図面の作成・GIS化、毎年度の更新 ・立体図の導入	図面の継続的な更新、共通図面の有効活用 情報管理システムの構築		
2. 適切な森林整備及び林業の生産性向上に必要な路網整備の戦略的展開	②路網整備の戦略的展開	・路網の連結 ・中長期的な路網計画の検討 ・鉄鋼スラグの活用 ・路網設計支援ソフトの活用	令和2年7月豪雨災害からの路網の復旧、 路網の新設・改良・連結等を計画的に実施		
3. コストの低減と収益の確保			球磨川地域森林計画期間		球磨川地域森林計画編成
	③原木の生産・流通コストの低減	・民国連携システム販売 ・協調出荷・中間土場の活用 ・タワーヤード現地検討会 ・ドローンによる架線設置	原木の輸送コスト低減等に向けた中間土場の活用の推進		
			施業コスト低減に向けた集約化施業の実施		
	④原木の安定供給による収益の確保	・民・国システム販売によるSCMの構築 ・民・民による協調出荷の実施	協調出荷の対象の多様化等へ取り組みつつ、協調出荷による販売数量を拡充、スケールメリットを活かした安定取引を実施		
			国産材の需要拡大の動きに対して原木を安定的に供給		
	⑤主伐から造林・保育に係るトータルコストの低減	・特定母樹の活用によるコンテナ苗の生産、導入 ・一貫作業システム現地検討会、普及 ・シカ対策協定締結	コンテナ苗活用による一貫作業システムの普及推進		
			低密度植栽・特定苗木等の積極的な導入による造林・保育コスト低減		
	⑥施業技術の開発・実証	・低コスト試験地等の現地検討会開催	低コスト施業技術 (下刈り隔年実施、筋刈り等)の開発・実証		
			ドローン等を活用した効率的作業の導入・普及		
	⑦林業事業体の育成、林業従事者の育成・確保	・日報管理の実施 ・事業量・立木販売情報の公表	立木販売情報の公表、事業の安定的な確保と事業実施		
			フィールド等を活かした各種研修に取り組みつつ、 林業従事者の育成・確保に向けた更なる取組の検討・実施		

重点課題	7つのアクション	これまでの主な成果	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 森林情報の一層の共有・活用の推進	①森林情報の共有・活用	・共通図面の作成・GIS化、毎年度の更新 ・立体図の導入	図面の継続的な更新、共通図面の有効活用 情報管理システムの構築		
2. 適切な森林整備及び林業の生産性向上に必要な路網整備の戦略的展開	②路網整備の戦略的展開	・路網の連結 ・中長期的な路網計画の検討 ・鉄鋼スラグの活用 ・路網設計支援ソフトの活用	路網規格の統一・新設改良・連結等を検討 令和2年7月豪雨災害からの路網の復旧、路網の新設・改良・連結等を計画的に実施 次期球磨川地域森林計画期間 球磨川地域森林計画編成		
3. コストの低減と収益の確保	③原木の生産・流通コストの低減	・民国連携システム販売 ・協調出荷・中間土場の活用 ・タワーヤード現地検討会 ・ドローンによる架線設置	原木の輸送コスト低減等に向けた中間土場の活用の推進 施業集約化に向けた体制の構築 施業コスト低減に向けた集約化施業の実施		
	④原木の安定供給による収益の確保	・民・国システム販売によるSCMの構築 ・民・民による協調出荷の実施	協調出荷の対象の多様化等へ取り組みつつ、協調出荷による販売数量を拡充、スケールメリットを活かした安定取引を実施 国産材の需要拡大の動きに対して原木を安定的に供給		
	⑤主伐から造林・保育に係るトータルコストの低減	・特定母樹の活用によるコンテナ苗の生産、導入 ・一貫作業システム現地検討会、普及 ・シカ対策協定締結	コンテナ苗活用による一貫作業システムの普及推進 低密度植栽・特定苗木等の積極的な導入による造林・保育コスト低減		
	⑥施業技術の開発・実証	・低コスト試験地等の現地検討会開催	低コスト施業技術(下刈り隔年実施、筋刈り、穴苗活用等)の開発・実証 (⑤から移動)ドローン等を活用した効率的作業の導入・普及		
	⑦林業事業体の育成、林業従事者の育成・確保	・日報管理の実施 ・事業量・立木販売情報の公表	立木販売情報の公表、事業の安定的な確保と事業実施 フィールド等を活かした各種研修に取り組みつつ、林業従事者の育成・確保に向けた更なる取組の検討・実施		